

家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理基準の設定

- ・農林水産大臣が、牛、豚、鶏などの家畜について、その飼養に係る衛生管理の方法に関し、家畜の所有者が遵守すべき基準(飼養衛生管理基準)を定めるとともに、家畜の所有者に当該基準の遵守を義務付け。
- ・また、家畜の所有者は、毎年、飼養衛生管理の状況を都道府県知事に報告し、都道府県が立入検査等により遵守状況を確認することで、家畜の伝染性疾病的発生を予防。

農場における衛生管理の徹底(農林水産省で規定)

○ 飼養衛生管理基準(抜粋)

- 1 家畜防疫に関する最新情報の把握
- 2 衛生管理区域の設定
 - ・徹底した衛生管理が必要な区域を他の区域と区分
- 3 衛生管理区域への病原体の持込み防止
 - ・必要のない者の立入りの制限
 - ・消毒設備の設置と入場車両・入場者に対する消毒の実施
 - ・(豚)未加熱の食品循環資源の持込み禁止
- 4 野生動物等からの病原体の侵入防止
 - ・給餌・給水設備への野生動物の排せつ物等の混入防止
 - ・防護柵、防鳥ネット等の整備(豚、鶏)
- 5 衛生管理区域の衛生状態の確保
 - ・畜舎・器具の定期的な清掃又は消毒及び密飼いの防止
- 6 家畜の健康観察と異状がある場合の対処
 - ・毎日の健康観察と異状時の早期通報・出荷停止
 - ・家畜・家きんの死体・排せつ物の移動時の漏出防止
- 7 埋却地の確保等
 - ・埋却地の確保又は焼却・化製のための準備措置
- 8 感染ルート等の早期特定のための記録作成・保管
 - ・入場者に関する記録の作成・保管
- 9 飼養衛生管理の適正化及び継続実施のための措置
 - ・衛生管理マニュアルの作成及び従事者等への徹底
 - ・担当獣医師による衛生管理指導

と畜場・食鳥処理場



食肉・食鳥処理・加工場



卸売・小売業者



消費者



食品供給行程の各段階における適切な措置により食品の安全性を確保
(と畜場法・食品衛生法)

- 病畜の廃棄(全部又は一部)
- 枝肉の微生物汚染・増殖防止

- 枝肉・部分肉・加工品の微生物汚染・増殖防止

飼養衛生管理基準の遵守徹底を図る仕組み

家畜の所有者による
遵守状況の定期報告

都道府県による取組

原則として
年1回以上
農場へ立入検査

指導
助言

勧
告

命
令

罰
則

基準を遵守しない場合は

命令に従わない場合は公表

※不遵守の場合、家畜伝染病発生時には、手当金等を減額の可能性

飼養衛生管理基準の推進体制～都道府県の指導の高位平準化と飼養衛生管理者の選任～

令和2年の家畜伝染病予防法の改正によって新たに措置された仕組み

- 県による指導のバラツキ解消・高位平準化を図るため、国が指導指針を作成、県が指導指針に即して指導計画を作成し、計画的な指導を行う制度を措置（令和3年4月1日施行）
- 衛生管理に係る責任の所在を明確にし、飼養衛生管理基準の遵守を徹底するため、家畜の所有者が、衛生管理区域ごとに飼養衛生管理者を選任することを義務付け（令和2年7月1日施行）

農林水産省

指導指針の作成

- ①基本的な方向
- ②重点事項
- ③指導実施体制に関する事項
- ④協議会の活用に関する事項

家畜衛生情報の発信

- ①わかりやすいリーフレットやガイドブック等の作成
- ②HPを使った周知
- ③家畜衛生情報の調査・研究

都道府県

指導計画の作成

- ①指導計画に基づく指導
- ②市町村との役割分担、地域協議会の設置・運営
- ③飼養衛生管理者に対する研修

家畜衛生情報の提供

FAX・メーリングリストの活用

飼養衛生管理状況の分析・指導

- ①電話、写真等での確認、立入検査
- ②法に基づく指導・助言、勧告、命令

家畜の所有者

飼養衛生管理者（選任）

- ①必要な衛生対策の見える化
・飼養衛生管理マニュアル、看板
- ②飼養衛生管理者によるチェック
・自己点検→衛生管理の徹底
- ③指導を踏まえた改善

自己点検結果の報告等

研修等の実施

協議会

〇〇地区家畜衛生協議会

地方公共団体 ↔ 生産者団体

- ・情報共有
- ・共同での取組
- ・意見集約

関係事業者



情報提供・助言

〔 施策情報、科学的知見
他の地域での取組事例 〕

意見・要望

〔 地域の課題やその対策
を取りまとめ 〕

※都道府県・市町村の地域単位等で開催

農場段階におけるHACCP方式を活用した衛生管理の推進

- ・家畜保健衛生所、生産者、畜産関係団体、獣医師等地域が一体となった生産段階へのHACCP手法導入を推進。
- ・農場指導員(家畜保健衛生所の職員等の獣医師をはじめとした、農場HACCPの導入・実施や認証取得を促す指導員)を養成するとともに(平成20年度～)、生産から加工・流通、消費まで連携した取組への支援を実施(平成21年度～)。
- ・HACCPの考え方に基づく衛生管理が行われている農場の認証基準を公表(平成21年度)するとともに、認証制度の構築を推進。
- ・民間での農場HACCPの認証手続きが開始(平成23年度～)。 ※民間認証機関は2団体(令和3年10月現在)

農場HACCP認証に向けた取組



農場HACCP認証マーク

農場指導員 ※

約4,600名(令和3年3月時点)

※HACCPや家畜疾病、食品衛生等についての知見を有し、農場でHACCP方式を活用した飼養衛生管理の実施を促進するための指導を行う者。
PDCAサイクルを回して消費者の求める安全な畜産物を生産するために、専門的な知識を有する者として、客観的な視点から各農場に合わせたアドバイスを実施。

農家毎の実施マニュアル作成

- ・危害因子調査
(サルモネラ菌・大腸菌O157・抗菌性物質等)
- ・危害分析(HA)
- ・重要管理点(CCP)の設定
- ・実施マニュアルの作成

農場モニタリング検査・改善指導

実践

HACCPの考え方に基づく衛生管理の実施

検証

適切な衛生管理の見直し

と畜検査情報等のフィードバック

【衛生管理ガイドライン】

HACCPの考え方に基づき、危害を制御又は減少させる手法について畜種ごとに設定。

【鶏卵のサルモネラ総合対策指針】

衛生管理ガイドラインのうち、鶏卵のサルモネラ汚染をコントロールするための指針。

HACCP方式取組農家

取組農家戸数:5,210 (平成30年3月時点)

消費者の求める安全な畜産物の生産

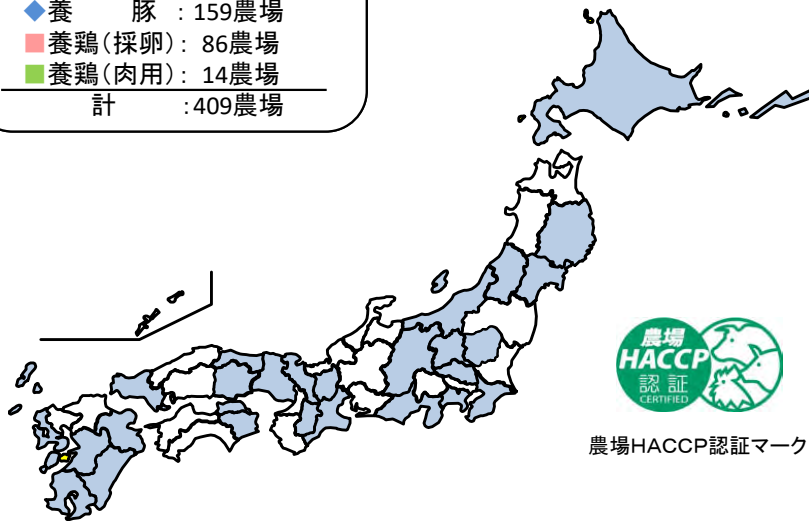
畜産物に対する消費者の信頼確保

農場HACCP認証農場(1/5)(乳用牛)

令和3年10月15日現在

○乳用牛：41農場
●肉用牛：106農場
●乳用牛・肉用牛：3農場
◆養豚：159農場
■養鶏(採卵)：86農場
■養鶏(肉用)：14農場
計：409農場

◎JGAP家畜・畜産物認証経営体：87農場
★農場HACCP認証マーク製品貼付許可：34農場



<●乳用牛・肉用牛：3農場>

群馬県	株式会社西ハルナファーム古賀良牧場
長野県	株式会社長門牧場
熊本県	菊池地域農業協同組合キャトルブリーディングステーション事業所

<○乳用牛：41農場>

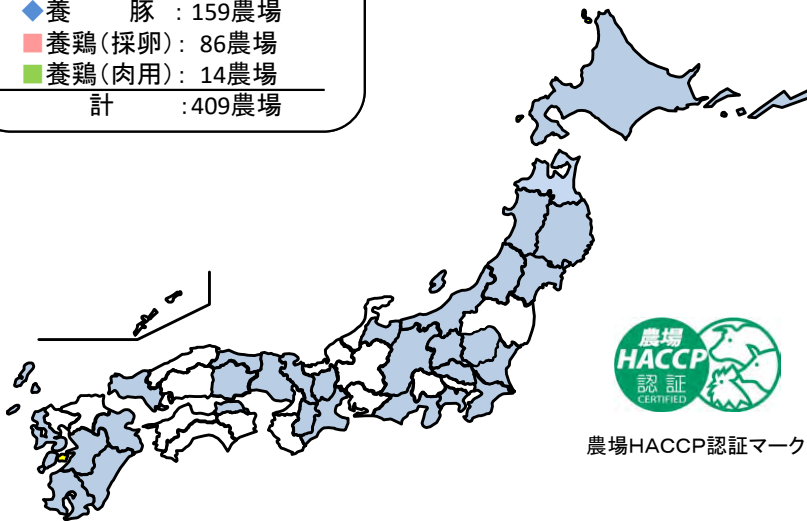
北海道	有限会社藤井牧場(◎)
	及川牧場
	株式会社ノベルズデーリーファーム
	株式会社Kalm角山(◎)
	ひらかわ牧場
	株式会社CONNECT
	株式会社TACSしべちや
	株式会社学林ファーム(◎)
	本田牧場
	北海道標茶高等学校
岩手県	株式会社中野牧場
	有限会社中島牧場(◎)
山形県	独立行政法人家畜改良センター岩手牧場(◎)
	岩手県立農業大学校
栃木県	はまだ牧場(◎)
	今牧場
群馬県	有限会社那須高原今牧場
	有限会社井上牧場
	有限会社増茂デイリー
	須藤牧場
	株式会社グローリーデーリーファーム
埼玉県	有限会社小菅牧場
	株式会社i-Milk Factory
千葉県	皆川牧場
	株式会社近藤牧場(◎)
	金子牧場合同会社
神奈川県	株式会社雪印こどもの国牧場
	有限会社石田牧場
	有限会社石井牧場
	有限会社荒井牧場
静岡県	佐野牧場
	柴田牧場
新潟県	株式会社神田酪農
奈良県	池下牧場
鳥取県	有限会社岸田牧場(★)
岡山県	公益財団法人中国四国酪農大学校付属農場(第2牧場)
	公益財団法人中国四国酪農大学校付属農場(第1牧場)
	有限会社安富牧場(★)
	株式会社あさなべ牧場
徳島県	合同会社ラックファーム
大分県	有限会社安養寺牧場

農場HACCP認証農場(2/5)(肉用牛)

令和3年10月15日現在

○乳用牛：41農場
●肉用牛：106農場
●乳用牛・肉用牛：3農場
◆養豚：159農場
■養鶏(採卵)：86農場
■養鶏(肉用)：14農場
計：409農場

◎JGAP家畜・畜産物認証経営体：87農場
★農場HACCP認証マーク製品貼付許可：34農場



農場HACCP認証マーク

滋賀県	有限会社澤井牧場第2牧場(◎)
	有限会社古株牧場
京都府	株式会社丹波清光ファーム(★)
兵庫県	神戸畜産株式会社氷上本場
鳥取県	おぐら畜産農場
島根県	農業組合法人中国牧場
岡山県	有限会社石岡牧場
山口県	有限会社高森肉牛ファーム(★)
香川県	高橋畜産株式会社干拓農場
長崎県	株式会社野元牧場箱崎支場
熊本県	株式会社矢岳牧場(◎)
大分県	株式会社ゆふいん牧場久住高原都野牧場
宮崎県	有限会社中林牧場児湯支場
	安楽畜産株式会社鷹取牧場(◎)
	安楽畜産株式会社永野牧場(◎)
	みらいグローバルファーム株式会社
鹿児島県	有限会社野村畜産木串農場
	みらいファーム株式会社
	志布志直営農場(◎)
	有限会社福永畜産第2農場

＜●肉用牛：106農場＞

栃木県	株式会社イソシンファーム
	株式会社敷島ファーム那須第1牧場(◎)
	株式会社敷島ファーム那須第2牧場(◎)
	株式会社敷島ファーム那須第3牧場(◎)
	株式会社敷島ファーム那須第4牧場(◎)
	株式会社敷島ファーム那須第5牧場(◎)
	株式会社野村牧場
	株式会社佐藤牧場
	株式会社永田牧場
	有限会社前日光ファーム(★)
群馬県	株式会社長谷川農場
	有限会社鳥山牧場(◎)(★)
千葉県	株式会社IIZASA牧場
	株式会社御子神畜産
	有限会社最上畜産船越農場
	有限会社最上畜産井戸山農場
	篠本牧場
	株式会社TAK
	株式会社左京 左京農場(旧名称：岩淵義徳牧場(左京農場))
	株式会社ISBファーム
	株式会社えびすファーム
	株式会社マルコファーム肥育農場
	糸賀牧場
	株式会社イワイ
神奈川県	石井牧場
	栗坪の里 石井牧場
	株式会社門屋食肉商事大野山かどやファーム
長野県	牧舎みねむら(★)
	有限会社小田切牧場東部(★)
	有限会社小田切牧場中野牧場
富山県	株式会社カシワファーム
三重県	松阪牛の里オーシャンファーム(◎)
	株式会社堀坂 堀坂牧場(★)
	有限会社中林牧場第1牧場
	有限会社中林牧場第2牧場
	瀬古食品有限会社
	松阪牛の里オーシャンファーム第三牧場(◎)
	株式会社長太屋松阪牧場(★)(◎)
	有限会社三重カドワキ牧場(★)
	有限会社伊藤牧場(◎)
	株式会社三重加藤牧場明和牧場
	三重萩牧場(◎)
	有限会社竹内牧場(◎)
	西岡畜産
	株式会社黒毛和牛の岡田
	株式会社前川農場 松阪牛舎
	株式会社三重加藤牧場 四日市肥育牧場

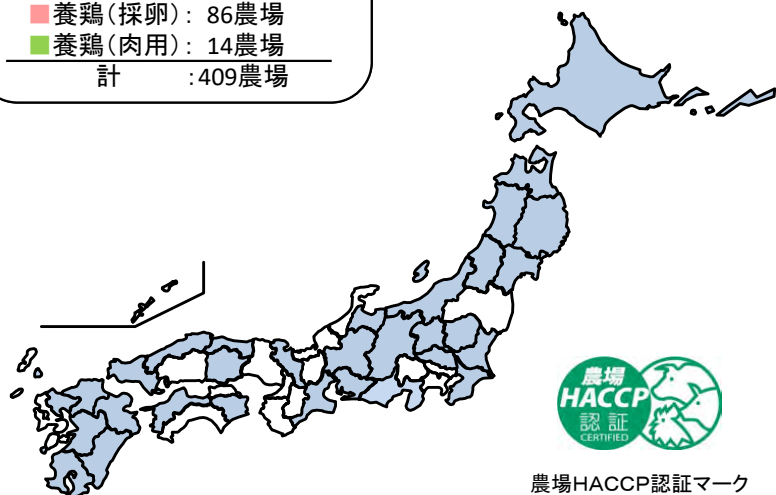
北海道	サロマ牛肥育センター株式会社(◎) (トップファームグループ)
	株式会社向陽畜産
	有限会社コスモス
	株式会社トップファーム(◎) (トップファームグループ)
	パシフィックファーム株式会社(◎) (トップファームグループ)
	株式会社大野ファームグループ(◎)
	株式会社ホクチクファーム標茶分場(◎)
	株式会社敷島ファーム白老牧場(◎)
	有限会社長沼ファーム 本場(◎)
	株式会社まつもと牧場(◎)
	株式会社早川牧場
	有限会社下士別畜産
青森県	株式会社カネダイ大橋牧場(◎)
	独立行政法人家畜改良センター十勝牧場
岩手県	有限会社長沼ファーム 安平事業所(◎)
	株式会社ホクチクファーム 達古武分場
宮城県	株式会社ホクチクファーム 鶴居分場
	一般社団法人東通村産業振興公社農場
山形県	岩手県立農業大学校
	有限会社蔵王高原牧場宮城蔵王牧場 (高橋畜産グループ)
	有限会社蔵王高原牧場川崎育成牧場 (高橋畜産グループ)
	株式会社伊東牧場有賀分場
	有限会社うしちゃんファーム第五肥育センター うしちゃんセンター高須賀
茨城県	有限会社うしちゃんファーム第二肥育センター うしちゃんセンター石巻太田
	有限会社スカイファームおざき芦沢農場(◎)
	有限会社蔵王ファーム山形蔵王牧場(◎) (高橋畜産グループ)
	有限会社蔵王ファーム米澤農場 (高橋畜産グループ)
	有限会社蔵王ファーム山形第2農場 (高橋畜産グループ)
	株式会社和農産(★)
	有限会社水上畜産(◎)
	株式会社米澤佐藤畜産生産部理想肥育研究所
	姫城中川ファーム(◎)
	有限会社山口畜産
茨城県	株式会社米沢牛黄木畜産工房
	株式会社BELLFARM
	株式会社BELLFARMにぐら苑農場
	株式会社蔵王ファーム米澤第2農場 (高橋畜産グループ)
	有限会社常陸牧場木部農場
	有限会社鬼怒グリーンファーム国生本場(◎)
	有限会社鬼怒グリーンファーム坂手農場(◎)
	有限会社鬼怒グリーンファーム酒寄牧場(◎)

農場HACCP認証農場(3/5)(養鶏(採卵)、養鶏(肉用))

令和3年10月15日現在

○乳用牛：41農場
●肉用牛：106農場
●乳用牛・肉用牛：3農場
◆養豚：159農場
■養鶏(採卵)：86農場
■養鶏(肉用)：14農場
計：409農場

◎JGAP家畜・畜産物認証経営体：87農場
★農場HACCP認証マーク製品貼付許可：34農場



農場HACCP認証マーク

< ■ 養鶏(肉用) : 14農場 >

岩手県	株式会社オヤマ名木沢農場 株式会社オヤマ名木沢第二農場
山形県	株式会社アイオイ鶴ヶ平ファーム(★) 株式会社アイオイ 観音寺ファーム・ミノ平ファーム(★)
群馬県	群馬農協チキンフーズ株式会社北橋農場
千葉県	丸トポトリー食品株式会社椎名農場
愛知県	丸トポトリー食品株式会社東上農場 株式会社イシイフーズ脇町農場
徳島県	オンダン農業協同組合ひまわり農場 貞光食糧工業株式会社大久保農場
福岡県	農事組合法人福栄組合金剛農場
佐賀県	株式会社中島鶏園太良農場
宮崎県	株式会社熊田原工務店こっこ家くまちゃん 株式会社久都みやざき久米田農場

< ■ 養鶏(採卵) : 農86場 >

新潟県	鎌田養鶏株式会社
富山県	有限会社床鍋養鶏五郎丸農場有限 有限会社床鍋養鶏南砺農場
長野県	農事組合法人会田共同養鶏組合本場(★)(◎)
岐阜県	株式会社ダイシンエッグ中津川農場 株式会社クレスト瑞浪農場 有限会社アツミファーム奥美濃農場 株式会社クレスト関農場
愛知県	有限会社富田養鶏場七根農場 有限会社知多エッグ(★) 有限会社アツミファーム新城農場 株式会社クレストジャパンホールディングス大草農場 株式会社半田ファーム半田農場 一宮市浮野養鶏株式会社 クレフォートポトリー株式会社常滑農場
三重県	有限会社伊勢農場 有限会社せせらぎ(★) 地主共和商会第一農場
京都府	有限会社グリーンファームソーゴ(◎)(★) 有限会社三和鶏園 三和農場
鳥取県	有限会社小川養鶏場
島根県	木次ファーム
岡山県	株式会社めぐみ
山口県	有限会社よしわエッグファーム
愛媛県	JAえひめフレッシュフーズ株式会社菅沢育成場 愛媛飼料産業株式会社菊間ファーム JAえひめフレッシュフーズ 卵卵中野ファーム 有限会社福岡ファーム(★)
福岡県	株式会社ヒラノのタマゴ福島本場 青柳養鶏場 株式会社野上養鶏場(★) 株式会社コッコファーム
熊本県	株式会社ノーサン・エミー 上ノ原農場 株式会社緒方エッグファーム(★)
大分県	有限会社大分ファーム鹿嶋越高原農場 JAうすきたまごファーム株式会社臼杵農場
宮崎県	新富エッグシステム株式会社18農場(◎)(★) 株式会社アクレス 柳ノ上成鶏農場 農事組合法人香川ランチ第一農場
鹿児島県	有限会社松原養鶏場仁田尾成鶏農場 南九州エッグシステム株式会社呷ヶ山農場(◎)(★) 南九州エッグシステム株式会社末吉農場(◎)(★)

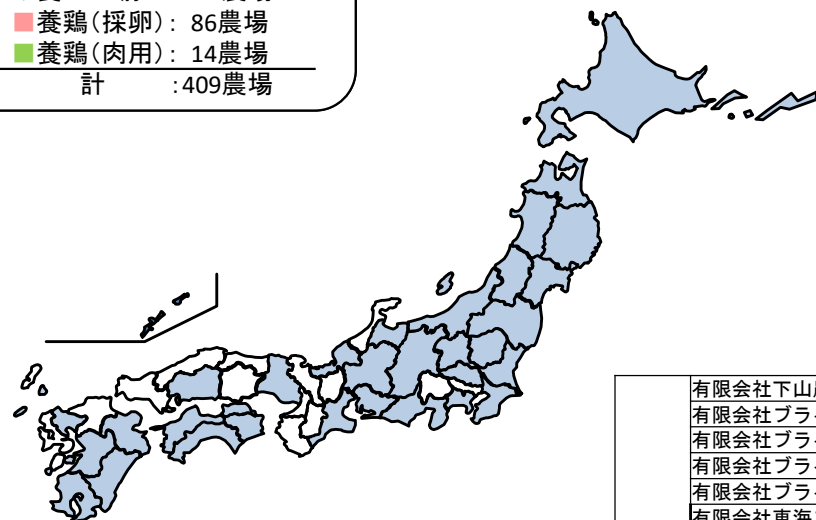
北海道	株式会社ホクリヨウ札幌農場(◎) 株式会社ホクリヨウ北見農場 株式会社ホクリヨウ十勝農場 株式会社ホクリヨウ登別農場 株式会社ホクリヨウ千歳農場(◎) 有限会社北海道種鶏農場白老農場 有限会社北海道種鶏農場社台農場 株式会社グランファーム竹浦農場 有限会社ノースチック白老育成場
青森県	カワケンポトリー 東北養鶏株式会社
岩手県	株式会社アーク牧場事業部農牧部(◎) 株式会社第一ポトリーフาร์ม盛岡農場(◎) 株式会社第一ポトリーフาร์มはまなす農場(◎)
宮城県	イセファーム東北株式会社色麻農場(◎) 株式会社栗駒ポトリー金成農場 株式会社栗駒ポトリー大梨農場
秋田県	株式会社中条たまご秋田農場(◎)(★) 有限会社藤原養鶏場 農事組合法人樽見内耕新農場 農事組合法人秋田中央種鶏場
山形県	株式会社山田鶏卵 山田ガーデンファーム 株式会社半澤鶏卵 東根農場 株式会社半澤鶏卵 川北農場
福島県	有限会社石井養鶏場(★) 有限会社つくばファーム(◎) 有限会社ナリタファーム(★)
茨城県	株式会社エッグドリーム八千代農場 千葉丸ト販売株式会社水戸北部農園 有限会社都路ファーム馬立農場
栃木県	有限会社磯ヶ谷養鶏園 大田原農場
群馬県	ユキヒラ・エッグ(◎) 有限会社三喜鶏園水沼農場
埼玉県	有限会社丸一養鶏場(◎) 株式会社愛鶏園榎挽農場 株式会社愛鶏園針ヶ谷農場 株式会社愛鶏園深谷農場 株式会社愛鶏園岡部農場
千葉県	株式会社パートナーズ木更津農場(◎) 奈良養鶏園 株式会社秀鶏園豊里農場 株式会社秀鶏園森戸農場 千葉エッグファーム有限会社 株式会社シンライ
静岡県	有限会社野田養鶏

農場HACCP認証農場(4/5)(養豚)

令和3年10月15日現在

○乳用牛：41農場
●肉用牛：106農場
●乳用牛・肉用牛：3農場
◆養豚：159農場
■養鶏(採卵)：86農場
■養鶏(肉用)：14農場
計：409農場

◎JGAP家畜・畜産物認証経営体：87農場
★農場HACCP認証マーク製品貼付許可：34農場



農場HACCP認証マーク

＜◆養豚：159農場＞

北海道	有限会社ビクトリーポーク長沢農場
	有限会社ビクトリーポーク樽前農場
	有限会社西原ファーム
	有限会社道南アグロ森農場(◎)(★)
	有限会社富樫オークファーム
	株式会社ドリームポーク(◎)
	ルスツ羊蹄ファーム株式会社
	株式会社ほべつすわいん
	トンタス浜中株式会社(◎)
	有限会社浅野農場(◎)
	有限会社中多寄農場 白山農場
	有限会社高橋畜産(◎)
青森県	おおやファーム株式会社(◎)
	株式会社十勝野ポーク
	有限会社山中畜産千歳農場
	株式会社十勝ロイヤルマンガリツツファーム
岩手県	株式会社やまはた柏木農場
	株式会社木村牧場(◎)
	飯田養豚場
宮城県	株式会社やまはた館沢農場
	株式会社川賢 インジーンファーム谷地頭農場
	株式会社川賢 インジーンファーム高野沢農場
	株式会社アーク花泉農場(◎)
秋田県	株式会社アーク藤沢農場(◎)
	株式会社三沢農場 久慈繁殖農場
	株式会社いわて清流ファーム
山形県	株式会社南部ファーム
	株式会社サイボク東北牧場(◎)
	株式会社シムコ岩出山事業所
	株式会社AGRI PRIME
福島県	株式会社栗原農場高清水農場
	株式会社栗原農場片馬合農場
	ファームランド(◎)
茨城県	十和田湖高原ファーム(◎)
	ポークランド(◎)
	バイオランド(◎)
栃木県	株式会社シムコ大館G G Pセンター
	株式会社大商金山牧場米の娘ファーム(◎)
	株式会社木野内ファーム(◎)

群馬県	下仁田ミート株式会社安中牧場
	利根沼田ドリームファーム株式会社(◎)
	群馬県立勢多農林高等学校(◎)
	有限会社ほそや
	株式会社 林牧場 新里農場
	株式会社 林牧場 新里農場
	株式会社 林牧場 富士見農場
埼玉県	有限会社加須畜産明和農場
	有限会社 松村牧場
	株式会社埼玉種畜牧場鳩山牧場
神奈川県	有限会社加須畜産肥育農場
	農事組合法人打戻種豚組合
	有限会社 門倉種豚場

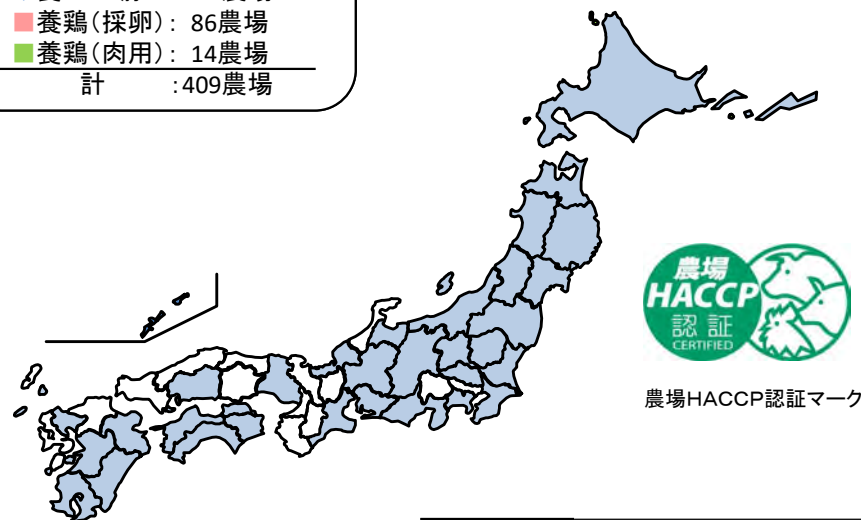
千葉県	有限会社下山農場
	有限会社ブライトピック千葉・黒潮農場(◎)
	有限会社ブライトピック千葉飯岡農場
	有限会社ブライトピック第一農場
	有限会社ブライトピック第二農場
	有限会社東海ファーム第1・2肥育農場
	豊橋飼料株式会社種豚センター
	有限会社比留川畜産
	有限会社ATSUTA野手農場
	農事組合法人千葉アグリ(◎)
	宝理養豚肥育農場
	株式会社シムコ館山事業所
	高森養豚
	株式会社スターピッグファーム東今泉肥育農場
	千葉県畜産総合研究センター養豚エリア
	木内養豚
	小長谷養豚
	愛東ファーム株式会社東庄肥育農場
	飯田養豚
	高橋養豚肥育農場
	有限会社ビギージョイ第3農場
	有限会社ブライトピック千葉銚子農場
	鈴木養豚
	株式会社ユウアイ肥育農場
	有限会社ブライトピック千葉GP農場
	株式会社ジェリービーンズ多古農場(◎)
	有限会社アリタホリックサイエンス・在田農場
	有限会社片岡畜産
	有限会社ジェリービーンズ野栄農場
	有限会社ジェリービーンズ山田農場
	有限会社ブライトピック東庄農場
	有限会社ブライトピック千葉森戸農場

農場HACCP認証農場(5/5)(養豚)

令和3年10月15日現在

○乳用牛：41農場
●肉用牛：106農場
●乳用牛・肉用牛：3農場
◆養豚：159農場
■養鶏(採卵)：86農場
■養鶏(肉用)：14農場
計：409農場

◎JGAP家畜・畜産物認証経営体：87農場
★農場HACCP認証マーク製品貼付許可：34農場



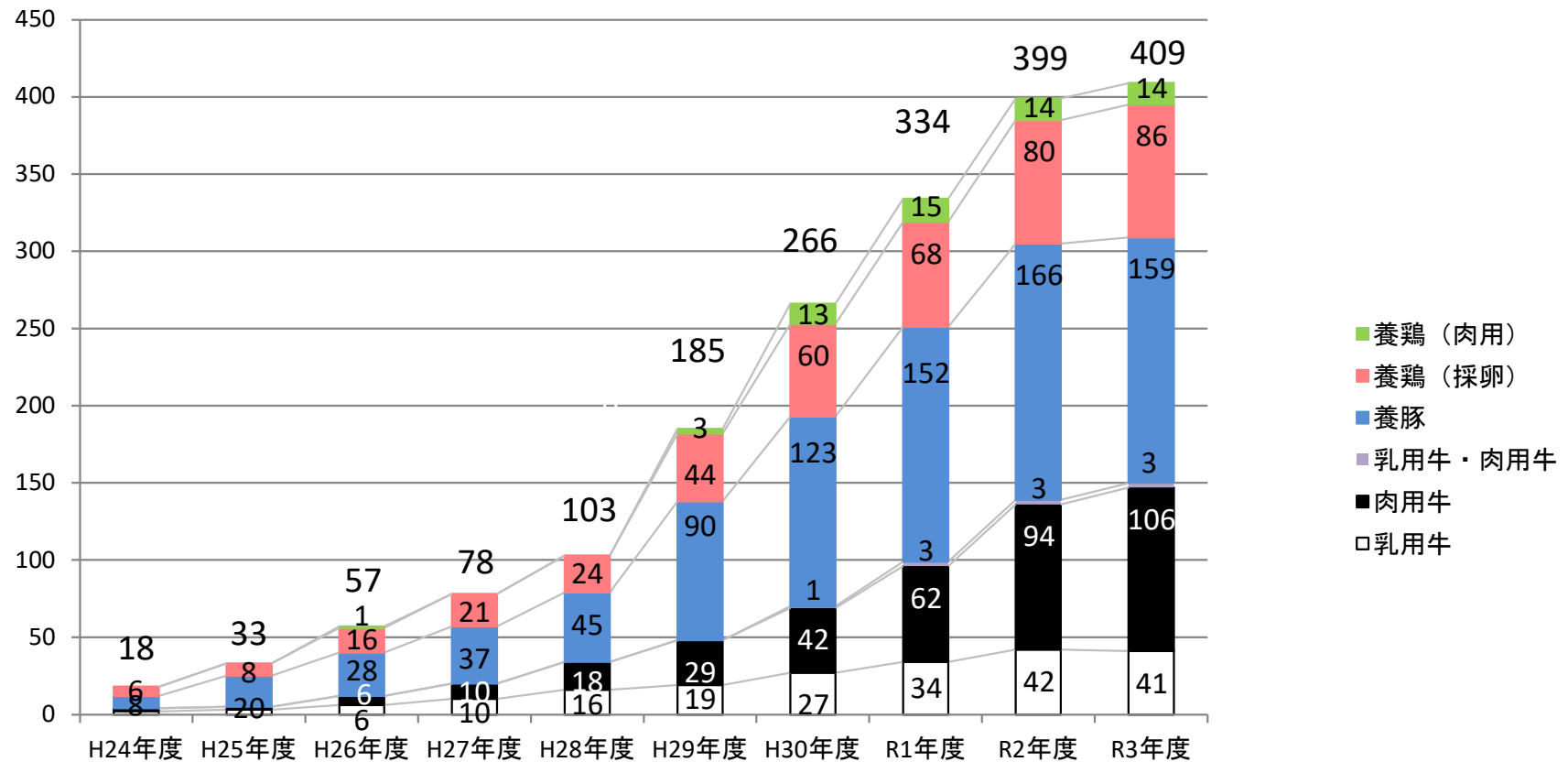
鹿児島県	有限会社環境ファーム(◎)
	南州農場株式会社佐多本場(◎)
	農事組合法人霧島高原純粋黒豚牧場
	南州農場株式会社根占農場(◎)
	株式会社シムコ鶴田事業所
	株式会社シムコ阿久根事業所
	南州農場株式会社AIセンター(◎)
	有限会社仮屋ファーム(◎)
	有限会社環境ファーム黒豚肥育農場匠の郷(◎)
	有限会社大成畜産中村農場
	株式会社鹿児島農場本場
	株式会社鹿児島農場細山田農場
	株式会社鹿児島農場月野事務所第1号・5号農場
沖縄県	株式会社鹿児島農場月野事務所第4号農場
	株式会社沖縄県食肉センター生産部数久田農場
	株式会社農業生産法人くにかみ畜産繁殖農場
	株式会社農業生産法人くにかみ畜産肥育第1農場
	株式会社農業生産法人くにかみ畜産肥育第2農場
	株式会社沖縄県食肉センターあぐもとぶ第一農場(★)
	株式会社沖縄県食肉センターあぐもとぶ第二農場(★)
	株式会社沖縄県食肉センターあぐ〜平良農場
	株式会社沖縄県食肉センターあぐ〜大宜味農場
	農業生産法人株式会社福まる農場新垣豚舎

静岡県	株式会社マルス農場
新潟県	川作ファーム株式会社本場
富山県	株式会社シムコ八尾G G Pセンター
福井県	有限会社睦美ファーム
長野県	株式会社あずみ野エコファーム
	全農長野SPF豚繁殖センター
岐阜県	有限会社ロッセ農場
愛知県	有限会社石川養豚場(◎)(★)
	有限会社マルミファーム
	有限会社 アクティブビッグ
三重県	有限会社一志ビックファーム
	有限会社クボタビックファーム(◎)(★)
	有限会社佐藤ビックファーム
	有限会社小林ファーム
	有限会社松葉ビックファーム
兵庫県	有限会社高尾牧場
広島	ファロスファーム株式会社 西城農場
	ファロスファーム株式会社 西城農場
徳島県	有限会社石井養豚センター市場農場
愛媛県	株式会社多田ファーム
高知県	農事組合法人平野協同畜産
香川県	農業組合法人大和畜産組合
佐賀県	有限会社永淵ファームリンク黒金農場
	有限会社永淵ファームリンク風配農場
熊本県	熊本興畜株式会社本社農場
	有限会社高森農場
	株式会社佐々牧場第1農場
	株式会社佐々牧場第2農場
	有限会社コーシン阿蘇大津ファーム
	有限会社富田ファーム
	有限会社ファームヨシダ
大分県	有限会社サイキ さいき農場
	有限会社福田農園
	有限会社九重ファーム
	有限会社中川スワインファーム肥育農場
宮崎県	有限会社香川畜産第一農場(★)
	有限会社香川畜産第二農場
	有限会社第一飼料西都農場
	株式会社ナンテクファーム守山細田農場
	有限会社ビッグセンター宝尺
	有限会社協同ファーム
	有限会社レクスト 生産農場
	有限会社宮崎第一ファーム

農場HACCP認証取得農場数の推移

(認証農場数)

(令和3年10月15日時点)



動物衛生に関する国際連携

- ・高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)、口蹄疫(FMD)等の越境性動物疾病(TADs)や薬剤耐性(AMR)対策は、国際的な協力関係が不可欠であるという共通認識のもと、国際機関、G7の枠組み、獣医当局間および研究所間で連携して活動を行っている。
- ・また、HPAIやFMD等が継続的に発生している近隣諸国との協力関係を強化し、疾病情報の共有、防疫対策等の向上を強力に推進することにより、東アジア地域の疾病の発生拡大を防止し、我が国への侵入リスクを低減。

国際機関との連携

任意拠出金等を通じて以下の活動を支援

○ 国際獣疫事務局(OIE)

- GF-TADs(OIEとFAOによる越境性動物疾病防疫のための世界的枠組み)の下で行われるアフリカ豚熱等の越境性動物疾病の防疫対策
- 疾病情報の集約・分析、発信活動の強化
- アジア太平洋地域における薬剤耐性対策及び人獣共通感染症対策

○ 国際連合食糧農業機関(FAO)

- 動物衛生危機管理センター(EMC-AH)への専門家派遣及び活動支援
- 牛疫ウイルス・牛疫ワクチンの保管体制整備

G7の枠組みにおける協力

○ G7首席獣医官フォーラム

- 2016年4月のG7新潟農業大臣会合宣言に基づき開催

	テーマ	場所	時期
第1回	AMR	東京	2016年11月
第2回	鳥インフルエンザ	ローマ	2017年10月
第3回	ASF	パリ	2019年5月
第4回	野生動物	オンライン	2021年5月

日中韓の協力

○ FMD・HPAIに関する東アジア地域シンポジウム

- 2011年から毎年、東アジア地域におけるTADsの拡大防止に向けた情報交換を実施(2018年(第8回)は6月に韓国で開催)

○ 越境性動物疾病への対応に関する協力

- 3か国大臣級で署名された「越境性動物疾病への対応に関する協力覚書」(2015年9月)に基づき、情報共有等の協力を推進

○ 出入国旅客の携帯品検査等の協力強化

- 農林水産省と中国海関総署との間で「出入国旅客の携帯品及び郵便物の検査及び検疫の強化に関する協力覚書」に署名(2019年11月)

獣医研究所間の連携協定(MOU)締結

○ 農研機構 動物衛生研究部門(日本)

⇔ロシア 2016年、2017年、2018年、2020年

⇔ベトナム 2017年、2018年

⇔タイ 2017年

⇔ポーランド 2018年

⇔カナダ 2019年

⇔オランダ、モンゴル、台湾 2020年



アフリカ豚熱に対する国際協力について(ハイレベル会合等)

- アフリカ豚熱は、欧州のみならず、2018年8月にアジアで初めて中国で感染が確認され、その後2019年にモンゴル、ベトナム、カンボジア、香港、北朝鮮、ラオス、フィリピン、ミャンマー、インドネシア、韓国、東ティモールで、さらに2020年にはインド、2021年2月にマレーシア、5月にブータンで感染が確認されるなど、アジアでの感染が拡大。
- アフリカ豚熱の発生の拡大・まん延防止は国際的に協力して対応すべき課題であり、国際獣疫事務局(OIE)や国連食糧農業機関(FAO)などの国際機関の主導のもと、関係国が連携・協力することにより、アフリカ豚熱の発生拡大・まん延防止を図り、各国への侵入リスクを低減。

○ G7首席獣医官会合

- ・ 2019年5月24日、第3回首席獣医官会合(フランス)において、各国におけるアフリカ豚熱や豚熱に対する防疫措置について、技術的な意見交換が実施され、アフリカ豚熱及び豚熱対策における通報の徹底やバイオセキュリティ、サーベイランス、野生動物の管理、ワクチン、国境貿易、啓発活動等について提言。

参加国・機関: G7各国(日本、フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、米国、カナダ)の首席獣医官、EU、OIE、国連食糧農業機関(FAO)、世界銀行から約20名が参加(我が国からは、首席獣医官である熊谷農林水産省動物衛生課長が出席)



第3回首席獣医官会合 出席者代表

○ アフリカ豚熱に関するハイレベル国際会議(ベルリン農業大臣会合サイドイベント)

- ・ 2020年1月17日、ベルリン農業大臣会合(2020年1月18日、ドイツ)のサイドイベントとしてアフリカ豚熱に関するハイレベル国際会議が開催され、各国間の情報共有の強化と透明性の確保、国際的な連携と世界戦略策定の重要性、研究分野での連携を行う必要があることが確認された。各国閣僚、OIE、FAO等が参加し、我が国からは、江藤農林水産大臣が出席。



第3回首席獣医官会合 会議の様子

アフリカ豚熱に対する国際協力について(OIE等の活動)

○ OIE等の国際機関における活動



(1) OIE総会

- 2019年5月26日～31日、第87回OIE総会(フランス)において、アフリカ豚熱への対応について農家等への知識啓発、農場のバイオセキュリティの強化、早期摘発等の重要性が確認され、啓発活動、バイオセキュリティの強化、透明性の確保、畜産物や動物の密輸対策、地域の連携、研究協力等に関するASF国際協力の決議が採択。

→GF-TADs(OIEとFAOによる越境性動物疾病防疫のための世界的枠組み)の下、2020年にGlobal control of African swine feverを策定。



第87回OIE総会 開会式の様子
(21カ国の農業省の政務が出席)

(2) OIEアジア・極東・太平洋地域総会

- 2019年9月2日～6日、仙台市で開催された第31回OIEアジア・極東・太平洋地域総会において、アフリカ豚熱に対して連携して対処していくことについて確認がなされるとともに、アフリカ豚熱への協力強化に関する決議が採択。



第31回OIEアジア・極東・太平洋地域総会
集合写真(1列目中央:濱村農林水産大臣政務官)

(3) OIE/FAOアジア地域アフリカ豚熱専門家会合

- 第1回(中国・2019年4月)
定期的な会合を通じてアジア地域におけるアフリカ豚熱対策の技術的課題を検討していくことを確認。
- 第2回(東京・2019年7月)
発生状況と対策を共有するとともに、水際検疫やバイオセキュリティなどの技術的課題について議論。
- 第3回(ベトナム・2019年11月)
発生国の発生状況と対策が共有されるとともに、関係機関とのコミュニケーションと啓発について議論。
- 第4回(オンライン・2020年4月)・第5回(オンライン・2021年9月)
各国の発生状況等について情報共有。



第1回OIE/FAOアジア地域アフリカ豚熱専門家会合の様子



第2回OIE/FAOアジア地域アフリカ豚熱専門家会合
集合写真(1列目中央:吉川農林水産大臣)

諸外国との検疫協議による輸出環境整備について

- 輸出解禁協議は、輸出促進法に基づき農林水産物・食品輸出本部が決定した「農林水産物及び食品の輸出の促進に関する基本方針」に従って実施。このうち、畜産物の家畜衛生に係る部分を動物衛生課で担当。相手国への解禁要請、相手国による疾病のリスク評価、検疫条件の協議といったステップを経る必要がある。
- また、日本国内で豚熱や鳥インフルエンザ等の家畜疾病が発生した場合でも、発生した地域以外から輸出を継続できるよう、地域主義の適用について諸外国との間で協議。

シンガポール：畜産物の携行品 輸出解禁

- 平成28年1月：
豚肉、牛肉とこれらの加工品
- 平成28年9月：鶏卵

<主な要件>

牛肉、 豚肉等	国内産	個人 消費	5kg 以内
鶏卵	国内産	個人 消費	30個 以内

上記を満たしたものに、動物検疫所の簡易
証明書（シール形式）を添付

<輸出実績>

牛肉：8.5億円（46トン）
豚肉：240万円（0.9トン）
平成28年1月～令和2年12月
※動物検疫所検査実績より

台湾：牛肉の輸出解禁

- 平成29年9月：解禁

<主な要件>

- 厚生労働省が認定し、台湾政府
当局が承認した食肉処理施設に
由来すること。
- 月齢30ヶ月未満の牛に由来すること。

<輸出実績>

・牛肉：41億円（815トン）
令和2年1月～12月
※財務省貿易統計より

鳥インフルエンザへの対応

- 令和2年11月の鳥インフルエン
ザ発生後、輸出の継続について
相手国と同意

<主な要件>

- 発生県で生産及び処理された家き
ん肉、卵でないこと。

<地域主義適用国・地域>

香港、カンボジア、ベトナム、シンガ
ポール、マカオ、アメリカ合衆国

<輸出実績>

・香港向け鶏肉：14.9億円（6,232トン）
・香港向け殻付き卵：45億円（17,779
トン）

令和2年1月～12月
※財務省貿易統計より